

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 10商工業振興費

◎商工業振興対策の経費

公衆浴場助成事業

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち
産業振興：農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 公衆浴場業者

意図 公衆浴場業の健全な運営確保を図り、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上に努めるため。

効果 公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進に繋がり、更には地域におけるコミュニティの場の創出を図る。

【事業の内容】

(1) 公衆浴場助成事業

- ・公衆浴場の確保対策を目的として、市内公衆浴場業者に対し運営経費の一部を助成した。
- ・公衆浴場の施設整備にかかる経費に対し助成をし、公衆浴場の運営を支援した。

【事業費】

(単位：千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,136	1,136	1,136		0
主な支出内訳				
・ 公衆浴場助成事業				
公衆浴場確保対策事業費補助金				240
公衆浴場設備整備費補助金				896
主な特定財源				
・ 国県支出金				90

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-27 公衆浴場助成事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	382 公衆浴場助成事業					
主管課	産業振興課	関連課					
分野名	産業振興課						
目標 (目標値)	公衆浴場の過疎地域の発生を防止し、住民の健康増進を図る。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	1,136千円	1,240千円	1,531千円			
	(国・県)	90千円	90千円	90千円			
	(負担金等)						
	(一般財源)	1,046千円	1,150千円	1,441千円			
	人員配置数	0.1人	0.1人	0.1人			
	人 件 費	962千円	954千円	913千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	2,098千円	2,194千円	2,444千円			
	市民1人当 りの経費	12円	12円	14円			
対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
公衆浴場の1日平均利用者数	×	目標値	120人	120人	120人		
		実績値	86人	71.5人			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・公衆浴場の施設整備補助金については、各浴場に要望調査を行ったうえで予算措置を行っているが、18・19年度とも、3浴場について予想外の緊急工事が必要となり、補正予算で対応した。各浴場とも老朽化していることから、計画的に施設整備を行う必要がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・次年度以降の向こう5年間の施設整備計画を立てるよう指導した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・上記の向こう5年間の施設整備計画は、書面で提出されていない。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・5～10年間の施設整備計画の提出を各浴場に求める。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	・公衆衛生の向上や市民の健康増進、高齢者の介護予防などの観点から、現存の公衆浴場が永く営業継続されるよう支援する。				
担当課長氏名:		磯崎 勇次			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	・公衆衛生の向上や市民の健康増進、高齢者の介護予防などの観点から、現存の公衆浴場が永く営業継続されるよう支援する。				
担当部名	市民経済部	部長名	相澤 千香子		